

第49回県下少年柔道錬成大会兼熊日学童 オリンピック柔道競技に関わる感染防止ガイドライン

1、入場者の条件

- ① 大会当日、会場に入場する監督・コーチ・選手は健康記録表及び名簿を大会受付に提出し検温を行ってから入場する。
- ② 大会役員・審判・報道・取材関係者・補助員は氏名及び検温結果を記入する。
- ③ 大会当日入場する保護者は、道場・クラブの所属団体毎に受付にて名簿を提出し検温を行ってから入場する。
- ④ 観戦する場合は拍手での応援とし、大声を出したり、メガホン等を使用した応援は禁止とする。観客席での飲食については制限しないが、飲食中の会話は行わないこと。
- ⑤ 試合の進行により第1アリーナに入場できるものを制限する。
別紙のタイムスケジュールを確認すること。

2、体調管理

- ① 監督・コーチ・選手は大会開催7日前(12月4日)から検温し健康記録表に記入の上、当日大会受付に提出する。
- ② 大会当日までに37.5℃以上の発熱が3～4日続いた日があったり、極度の咳、倦怠感などの症状があった者については大会への参加を見送り、会場への入場を制限する。

3、マスクの着用

- ① すべての入場者はマスクを着用する。マスクを着用しない者の入場は認めない。
- ② 選手は競技中以外はアップ時でもマスクを着用する。また、大会役員・審判員・補助員・取材者・観客は常時マスクの着用を義務づける。
- ③ 選手が報道関係者の取材を受ける際、写真撮影時に限ってはマスクを外すことを認める。

4、社会的距離の確保

- ① 選手は競技中を除き、他の選手・指導者・審判・補助員等と社会的距離を確保する様に努める。
- ② ミーティングなどは密集にならないように配慮し短時間で済ませる。
- ③ 保護者は基本、観客席の所定の位置で応援し、観客席以外の場所には立ち入らない。
ただし、IDカードをつけている保護者は第2アリーナへの立ち入りを許可する。
- ④ 会場外のフロア・休憩スペース・駐車場等での会話は出来るだけ慎む。

5、消毒・衛生管理

- ① すべての入場者はこまめな手洗い・手指消毒・うがいなどを励行する。また、主催者は会場入り口や試合会場に消毒液を設置する。
- ② 試合場は定期的に畳の除菌・消毒を行うとともに1階フロア・2階観客席は定期的に換気及び除菌・消毒の時間を設ける。
- ③ 水分補給は各自で準備するようにして、コップを共用する回し飲みは行わない。
- ④ 使用した机・椅子・掲示板等は、大会終了後に消毒液を浸した布巾やペーパータオルなどで拭く。
- ⑤ ゴミ等は各自ですべて持ち帰る。撤収後に館内を確認し、残っていた場合は各道場・クラブの担当者に戻ってもらい清掃・撤去して頂く。

6、感染報告

- ① 大会出場日を0日として3日目(12月14日)までに、感染が生じた場合は感染状況報告書(別紙様式)により報告を行うこと。

【報告先】 〒868-0302 熊本県球磨郡錦町大字一武839-1
熊本県少年柔道場連盟事務局長 園田 裕憲
kumamoto.shonen.2021@gmail.com

【提出方法】 メールまたは郵送

7、その他

- ① すべての入場者はマスクを着用が原則。
- ② 大会前に関係者(選手・指導者・役員)から感染者または濃厚接触者が発生した場合、主催者は大会の継続もしくは中止を速やかに検討する。
- ③ 新型コロナウイルスの感染状況によっては大会の中止もありうる。

徹底した感染防止対策を行っていく様に致しますが、その上で感染者が発生した場合は自己責任とさせて頂き、県柔道協会・熊本県少年柔道場連盟 は責任は負いませんのでご了承下さい。